

東日本大震災・福島原発事故11年

2022年10月9日(日) 決定!

ミュージカル バックトゥザ・フーちゃんII

ふくしま公演450万円 賛同募金 のお願い



2011年3月11日の東日本大震災・福島第1原発事故から11年になりますが、未だに廃炉作業の目途はたらず、放射線量が高い帰還困難区域が広がり、全国各地に避難された方と県内に暮らす方の苦難が続いています。この3年間、日本はコロナ禍によって以前の日常を奪われ続けていますが、原発事故で故郷をなくした方々は、「11年間の緊急事態宣言中」で、今後何年続くのかもわからない状況です。さらに、先日、6月17日には、全国4件の集団訴訟についての最高裁判所判決が出されましたが、原発を推進してきた国の責任を認めないという大変理不尽なもので、大きな怒りが広がっています。

愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団は、原発事故から2年後、2014年に、福島の皆さんのお話や現地の調査などを踏まえ、大人と子どもで創るミュージカル「バックトゥザ・フーちゃん」を愛知県内2か所（長久手市、名古屋市）で創作初演しました。

そして事故から10年目、昨年12月にこのミュージカルの続編「バックトゥザ・フーちゃんII」を創り、今も続く福島とそこに暮らす人たちの怒り、願いを我がこととして描き、愛知・福島・全国に大きな話題となりました。ミュージカル鑑賞のため名古屋を訪れた菅野正寿（福島県二本松市で有機農業を営む）と三瓶春江（浪江町津島地区で国を相手に裁判をたたかう）、そして合唱団メンバーは、このミュージカルをぜひ福島の人たちにも見てもらいたいと思いが一致、昨年8月合唱団の福島学習ツアーで交流した「福島しあわせ運べるように合唱団」とともに、今年10月、ミュージカル福島公演構想をかためました。

私たちは、現在の福島の思いを知ってほしい、伝えたい、そのためにこのミュージカルがさらに多くの方々の力となって広がってほしい、という願いを今回の福島公演に込めています。

ミュージカル公演には、たくさん子どもたちが演じます。また、出演者の他に、楽器奏者、演出、照明・音響他舞台スタッフなど多くの力が必要です。

この資金捻出のため、『450万円募金』に広く皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

- 賛同金 A・・・1口 1,000円 （公演パンフレットにお名前を掲載させていただきます）
 - 賛同金 B・・・1口 10,000円 （お名前掲載と、福島公演報告書・公演DVDを贈呈致します）
- <お振込先> アメミヤトヨコ ゆうちょ銀行（218支店）記号12100 番号81149231
雨宮都与子 E-mail toyoko.a@aioros.ocn.ne.jp

福島の思いを描き、未来につなげるミュージカル 福島公演成功にお力を！

■ ミュージカル「バックトゥザ・フーちゃんII」福島公演実行委員会

菅野正寿（NPO ゆうきの里東和） 三瓶春江（福島原発訴訟津島被害者原告団）
大谷敏彰（福島教育のうたごえなごみへず） 原田雄一（前浪江町商工会長）

■ 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団

清水則雄（団長・ミュージカル台本作者） 藤村記一郎（事務局長・ミュージカル作曲指揮）

主催：ミュージカル「バックトゥザ・フーちゃんII」福島公演実行委員会／愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団
問合せ：菅野正寿 TEL: 0243-47-3434 携帯: 090-6252-5334
藤村記一郎 TEL/FAX: 0561-58-4351 E-mail: kiichiro2003@ybb.ne.jp